

サンチェリーカップ廿日市市小学生ドッジボール大会

【 大会概要 】

大会名 サンチェリーカップ廿日市市小学生ドッジボール大会

開催日 令和7年3月8日(土)

場所 グローバルリゾート総合スポーツセンター(サンチェリー)メインアリーナ

参加料 300円/人(選手登録者のみ) *スポーツ保険代含む 当日受付時支払い

スケジュール：参加者受付	： 8：30～ 8：50	お昼休憩	： 12：20～13：10
開会式	： 9：00～ 9：20	競技進行	： 13：10～16：35
準備体操	： 9：20～ 9：30	閉会式	： 16：35～17：00
競技進行	： 9：45～12：30		

※表彰：優勝・準優勝・3位

※わんぱくリーグ(1・2年生でのチーム編成の部)は12：30までで終了します

1. 参加資格

1) リーグ構成

- ・レギュラーリーグ(6年生～3年生の男女で編成のチーム)
- ・ジュニアリーグ(4年生～1年生の男女で編成のチーム)
- ・わんぱくリーグ(1年生2年生の男女で編成のチーム)

注1) レギュラーリーグに3～4年生の出場は可能ですが、ジュニアリーグに5・6年生、わんぱくリーグに3～6年生の出場はできません。

2) 試合について

レギュラーリーグ：1チーム12名にて行う。

ジュニアリーグ：1チーム10名にて行う。

わんぱくリーグ：1チーム8名にて行う。

※児童数等によりチーム編成が出来ない場合は他校の児童との合同での選手登録・出場を認める。

注1) 公式ドッジボール部所属の児童の内5・6年生については、1試合2名以内とし、各チームのユニフォームを着用する。過去に1年以上、公式ドッジボール部に所属していた5・6年生についても同じ扱いとする。

注2) ジュニアリーグにおいて、公式ドッジボール部に所属している4年生は5名以内とし各チームのユニフォームを着用する。(3年生以下については公式ドッジボール部所属の有無は関係ない)

注3) レギュラーリーグのチームで4・5・6年生で構成する場合、公式ドッジボール部に所属している児童は5・6年生2名、4年生5名までとする。5・6年生は各チームのユニフォーム、4年生は各チームのユニフォームの上からピブスを着用する。

注4) 試合開始時(セットアップ時)に公式ドッジボール部員、又は過去に1年以上公式ドッジボール部に所属していた者で内外野でのポジションは不可とする。

2. 競技方法

- 1) 試合は予選リーグを経て決勝トーナメント方式で行なう。
- 2) 予選リーグ組み合わせは主催者側が大会当日までに抽選し決定する。
- 3) 全ての試合において、セットアップスタートとする。

3. 競技規則

- 1) ルールは日本ドッジボール協会公式ルールに準じて行なうが、一部ルールを削除した独自ルールとする。(詳細別紙)
- 2) 予選リーグ・決勝リーグ共に1試合5分間のランニングタイム方式。
※決勝トーナメントで引分けた際は、その状態からVポイント方式による再試合実施。
- 3) 予選リーグでは勝ち点制を採用し順位を決定する。

(勝ち：2点 引分け：1点 負け：0点)

*勝ち点の合計点数が同じの場合

- ①各試合終了時の味方内野人数合計が多いチーム
- ②直接対決の勝者
- ③各試合終了時の相手内野人数合計が少ないチーム

該当チームの間において上記①②③の順で判断し、順位を決定する。それでも決まらない場合は5分1セットの決定戦を行う。(決定戦は決勝トーナメントに進出するチームが決定しない場合のみ行う)

4. 特記事項

- 1) 出場(チーム編成)は原則学校単位とする。(※やむを得ない場合は混合も可)
- 2) 監督責任者として1名。副責任者として2名の合計3名の大人にて引率を願います。
- 3) 1校からクラス単位等複数チームの参加可能。
- 4) チーム名のあたまには必ず学校名をつけること。(例：〇〇小 ファイターズ)
- 5) 複数校の混合チームの場合も学校名をつけること。

※代表1校パターン(例：〇〇ファイターズ)

複数校記載パターン(例：〇〇・△△・□□ファイターズ)どちらも可

5. 注意事項

- 1) 大会出場選手は、動きやすい服装(ジャージ/体操着)にて参加のこと。
- 2) 施設内(サンチェリー)土足厳禁。選手・観覧者共に上履きを持参のこと。
- 3) 鳴り物を使った応援は禁止とする。
- 4) 飲食については、3F観覧席のみ可能。(ゴミは各自お持ち帰り下さい)
- 5) 敷地内全面禁煙にご協力下さい。

【競技ルール詳細】

チーム編成

監督責任者（1名）副責任者（2名）※原則18歳以上とする。

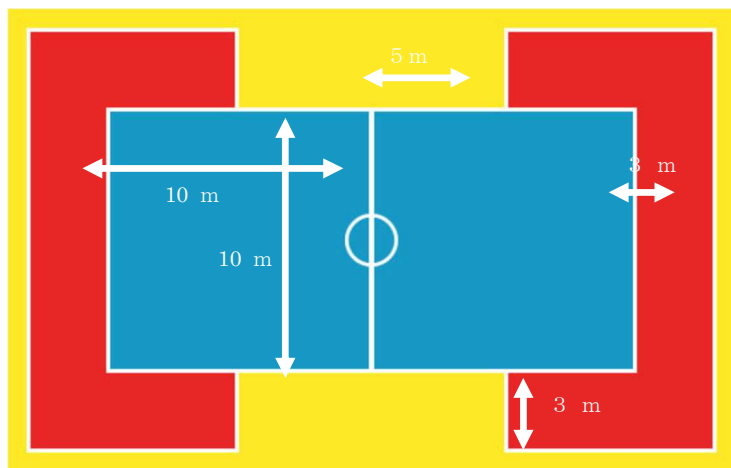
競技者小学校3～6年生 男女混合（レギュラー12名 ジュニア10名）選手登録は17名程度

※ チームキャプテン 1名をおくこと。

※ ベンチ入りは監督・選手含め20名まで。

コート

内野は10m×10mで外野は幅3mです。内野の中心側半分には外野がありません。



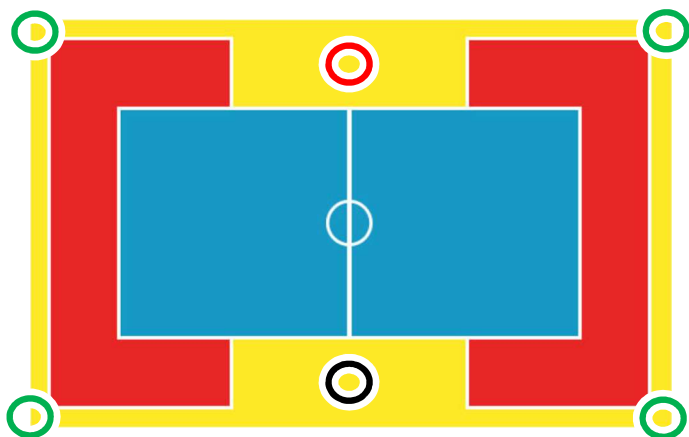
* わんぱくリーグのみ特別ルールを設けます。

選手は自コート内でプレーしなければいけません。相手コートに入ってしまった場合はアウトプレーというファールになりますが、ボールを持ったまま相手コートを踏むとオーバーラインというファールになります。

規則及び試合方法

試合球は日本ドッジボール協会認定公式球とします。

審判は主審1名・副審1名・線審4名の計6人体制とします。



○ 主 審 (1)

○ 副 審 (1)

○ 線 審 (4)

試合時間

試合は1セット5分間となりますが、内野の数が0になったら終了となります。

試合は「ランニングタイム」方式にて、審判が時計を止めない限り流し通しになります。

(コート外にボールがでた時も時計は止まりません)

勝 敗

セットが終わった時点で内野の数が多い方が勝ちです。

内野の数が同じの場合は引分けですが、トーナメント等で勝敗を付ける試合にかぎりVポイント方式による再試合を行い、どちらかの内野がアウトになるまで時間無制限とします。

内野と外野

競技は1チーム(レギュラー12人・ジュニア10人・わんぱく8人)で行ない、当初1名は外野につきます。(最初の外野人数は自由)

外野選手は相手内野選手をアウトにしなければ内野に戻れません。

試合開始時(セットアップ時)に公式ドッジボール部員、又は過去に1年以上公式ドッジボール部に所属していた者で内外野でのポジショニングは不可とする。

アウトとセーフ

相手の投げたボールをキャッチ出来ずボールが床に落ちり、相手に撮られた場合はアウトとなります。

注) ボールが直接に顔・頭に当たった場合は危険防止の為セーフとします。

(但し、自分からわざと頭にぶつけていったと審判が判断した場合や肩や首に当たった反動で顔・頭部に当たった場合はアウトとします。)

1人に当たった後、コートに落ちる前に味方選手がキャッチすればセーフ。

2人に当たった場合は、最初の1人のみアウトとします。

相手が投球したときにファールがあった場合は、当たってもセーフとなります。

試合スタート

試合はジャンプボールで始まります。(但しジャンパーへの第1投の攻撃は禁止)

ボールがコート外にでた後等ゲームを再開する場合、第1投目を投げる選手は内外野問わず、ボールを頭の上にあけて、審判の開始合図を待ちます。(合図前に投げるとファールとします)

アタックとパス

アタックとは、両手を広げた肩から下を通るボールをいい、それ以外はパスになります。

パスを連続で5回続けるとファールとなります。(主審が片手をあげてパスのカウントをします)

内野同士・外野同士のパスはファールとなります。(ボールの受渡しも禁止)

内外野への移動及び選手交代

内外野の移動及び選手交代は速やかに行なうようにして下さい。(移動は審判の後方を通ること)

注) 選手交代は顔面・頭部打撃その他体調不良で試合続行不可と主審または監督責任者が判断した場合可能。

(選手交代は怪我や体調不良で試合続行不可と判断された場合のみ控え選手と交代できます。)

ボールデットとボール支配権

試合中コート外にボールが出た時、ボールデットとなります。

最後に触ったのが内野選手の場合、相手内野ボールとなります。

最後に触ったのが外野選手の場合、触れた体の部位が手のひらの場合自分の外野ボールとなります。

(※ワンタッチ)

外野が投げたボールが直接ボールデットとなった場合は、相手内野ボールとなります。

ファール及びテクニカルファールについて

ボールを投げる時ラインを跨いだり踏んだ場合。(2歩目も含む)

ボール取るときにラインを跨いだり踏んだ場合。

相手コートに転がっているボールを取った場合。

パスが5回続いた場合。(パスは4回まで5投目はアタックと判断されれば良)

内野同士・外野同士でのパス。

相手の頭・顔への直接アタック。

ボールがコート外にでた後、試合を再開する際に主審の合図前に投球した場合。

(ボールを頭の上にあげ審判の合図を待ってください)

手で投げる以外の足などでボールを弾いてのアタック。

プレイヤー及び監督・コーチの無作法な行為。

※その他審判の判断に従うこと。

アドバンテージ

主審は試合の流れにおいてファールを認めても、ファールされたチームが有利になるか判断がつかない場合に限り、ファールを確定せず経過をしばらく見る。その結果ファールされたチームに有利な場合はそのまま試合を続行させ、不利な場合はその時点でファールを確定させる。

抗議等について

プレイヤー及び監督・コーチ等の抗議は一切認めません。

注1) 他チームからの攻撃が直接、顔や頭に当たった場合(主審並びに全審判員で協議)のみセーフとします。なお、胸や肩に一旦当たりその反動で顔・頭に当たった場合(審判員がそうと判断した場合は、その選手はアウトとなります。(試合は一旦止めて安全確認は行います)

注2) 選手交代は、コート内の選手が怪我や気分が悪くなって試合続行不可能と主審が判断した(もしくは監督責任者が上記症状等で不可能と判断した)場合のみ控え選手と交代可能とします。なお、攻撃を受けてその選手が試合続行不可能と判断され、前選手がアウト判定であった場合は交代選手もアウト判定に従い、外野へ移動となります。 *試合途中での自由な選手交代はできません*

注3) わんぱくリーグは特別ルールを設けます

ドッジボールのルール



きまりを守って、楽しくケガなくドッジボールをやろう。

